

『青少年安心・安全ネットづくりセミナーin富山』を開催



セミナーで挨拶する星局長



講演する石戸理事長



講演する工藤課長

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成27年5月18日（月）、富山県民会館において、北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会名誉会長）、富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山西潤一 富山大学人間発達科学部教授）との共催により「青少年安心・安全ネットづくりセミナーin富山」を開催し、教育関係者、行政機関等から約80名の参加がありました。

冒頭、星局長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、総務省では、今年度から多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進学・新入学の時期に合わせ、関係府省庁・関係事業者等と協力して、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として集中的な取組を展開している。本日のセミナーが、デジタル時代の子どもたちのインターネットを活用した教育の推進や、子どもたちをネットから守るためのフィルタリングの活用法など、これから子どもたちがネットと上手に付き合っていくためのヒントにしていきたい。」と挨拶しました。

セミナーでは、橋本 桂樹 氏（総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課 課長補佐）から青少年の安心・安全なインターネット利用環境の整備に向けた取組について説明した後、石戸 奈々子 氏（NPO法人CANVAS 理事長）が「デジタル時代の子どもたちの学び」と題して、地域との連携によりICTを活用し、子どもたちに創造的な学びの力を身に付けさせる教育の取組等を紹介し、子どもたちをネットの危険から守るためには、規制、テクノロジーによる解決法もあるが、リテラシーを向上させるための教育による解決の重要性等について講演されました。

また、工藤 陽介 氏（デジタルアーツ株式会社経営企画部コンシューマ課 担当課長）が「子どもを守るためのフィルタリング活用法」と題して、フィルタリングや機能制限を使ってリテラシーが不十分な子どもたちの危険を回避し対処法を学んでいくことの重要性、Wi-Fiやアプリに対するフィルタリングの設定方法等について分かりやすく講演されました。

最後に、山西座長が「ネットの世界では、ネットの向こうに多くの人がいる。他人の気持ちを大事にすることと、自分自身を大事にすることの両方が重要。子どもたちをネットの危険から守るためには、規制と技術的対応も重要だが、ネットの安全を子どもたち自らが理解する教育が最も重要であり、今後もセミナー等を充実し、安心して安全なネット社会を作っていきたい。」と挨拶し、セミナーを締めくくりました。



盛況だったセミナー会場



最後に挨拶する山西座長